

パフォーマンス

データ基準日：2026年8月31日

基準価額	34,544 円
前月末比	+1,537 円
純資産総額	5億2,572万円

期間別騰落率(%)					
1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
+4.7	+2.7	+0.9	+25.6	+84.1	+245.4



分配金 (1万口当たり、税引前)		
第1期	(2018年07月20日)	0 円
第2期	(2019年07月22日)	0 円
第3期	(2020年07月20日)	0 円
第4期	(2021年07月20日)	0 円
第5期	(2022年07月20日)	0 円
第6期	(2023年07月20日)	0 円
第7期	(2024年07月22日)	0 円
第8期	(2025年07月22日)	0 円
第9期	(2026年07月21日)	0 円
第10期	-	-
設定来累計		0 円

※運用状況により、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

※基準価額は信託報酬控除後の値です。

※基準価額(分配金再投資)は税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

資産構成(%)			
株	式	89.0	
そ	の	他	11.0
合	計	100.0	

市場別比率(%)		
東証プライム		66.3
東証スタンダード		21.8
東証グロース		0.9
現金等		11.0
合	計	100.0

組入比率上位10業種(全20業種中)

情報・通信業	10.5%
化学	10.5%
小売業	8.5%
卸売業	8.4%
機械	7.0%
電気機器	6.4%
建設業	4.6%
不動産業	4.5%
サービス業	4.3%
石油・石炭製品	3.9%

※資産構成・市場別比率・組入比率上位10業種の比率は当ファンドの純資産に対する比率です。

ファンドの特色・投資方針

1	わが国の中小型株を中心に成長性の高い銘柄などに幅広く投資します。
2	中小型株の投資魅力である企業の成長性に主として着眼し、また、割安な企業、変化する企業を選別します。
3	中長期的観点からの投資を基本としますが、企業の経営姿勢や業績の変化、株価水準等から総合的に判断し、個別銘柄に対する投資比率の調整を行います。
4	数倍化する可能性のある銘柄の発掘に努めます。

【設定・運用】

TORANOTEC投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号

(審査No.2026-1-052)

当資料は当該ファンドに関する運用状況の情報提供を目的として、TORANOTEC投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、当資料の運用実績・データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。投資信託は、株式など値動きのある証券等に投資をしますので基準価額は変動し、また元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。当ファンドのお申し込みに際しましては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【ファンドに関する照会先】

ホームページ: <https://www.toranotecasset.com>

電話番号: 03-6432-0782(受付時間:営業日の9時~17時)

市況

株式相場は米株高などを受けて上昇、下旬にかけてもみ合い。業績好調な内需株や成長期待の高い銘柄が物色。

8月の株式市場は、米国の早期利上げ観測後退を背景としたハイテク株高を受け、人工知能(AI)・半導体関連株への買いが優勢となり、日経平均株価は14日に一時69,608円まで上昇する場面がありました。その後、中東情勢の不透明感を受けて原油価格が高止まったことや、世界的に金利が上昇したことなどを受けてハイテク株を中心に売りが優勢となり、19日には65,326円まで下落、下旬にかけてはもみ合い展開となり、月末は66,311円で終わりました。

新興・中小型株(中・小型株指数)市場は、AI・半導体関連など主力株の上値が重いなか、出遅れ感のある業績好調な内需株などに見直しが入り、堅調に推移しました。中でも前月に年初来安値まで下落していた東証グロース市場250指数は、時価総額の大きい主力銘柄やテーマ性のある成長期待銘柄などが物色され、大幅高となりました。

こうした株式市場の動きを受けて、当ファンドは保有銘柄の買い増しを行い、8月末の株式組入比率を89.0%としました(前月末88.4%)。主要投資対象指数の騰落率(前月末比)は、中型株指数:+3.9%、小型株指数:+6.2%、東証グロース市場250指数:+18.4%となりました。

運用方針

日米の金融政策動向や新規大型IPOなどのイベントに注目。運用は割安・高配当・業績拡大見込みの銘柄を重視。

9月は16日以降、日米ともに中央銀行の金融政策決定会合が開かれます。市場では米国の早期利上げ観測の後退に加えて、日銀の利上げペースが早まると思惑から円相場が一時155円台に急騰したことで上昇基調にあった日米の長期金利の上昇に一服感が出ています。ただ、中東情勢の緊張を受けた原油価格の上昇や良好な米雇用環境による米利上げ観測の再燃、日本の財政拡大政策による財政の悪化懸念などから金利は高止まりする可能性が高いものと考えています。今後の展開については、金融市場を見極めるうえで重要なイベントを控えていることから、日米の金融政策の結果やその後の金融動向を見守る必要があります。

このような環境下、株式相場は中東情勢の不透明感や世界的な金利上昇を背景にAI・半導体関連銘柄を中心に調整されるなか、自動車や銀行、海運などバリュー(割安)株が堅調な展開となりました。ただ、足元の金利低下で再びAI・半導体関連銘柄が物色されるなど、金利動向の変化によって循環物色が進んでいます。こうした動きを背景に、今後の株式市場においては、イラン情勢など先行き不透明感があるものの、好調な決算が投資家心理を支え、好決算銘柄の見直し買いや、AI関連以外で出遅れ感のある割安な内需株などを物色する動きになると予想しています。また、米国では6月のスペースXに続き、9月にはAI開発のアンソロピックが上場する見通しで、スペースXを上回る過去最大の新規銘柄上場になる可能性があり、市場の関心も高いことから、今後のAI関連の株価動向を占ううえで注目されます。

運用においては、出遅れ感のある割安な好業績銘柄や好財務でバリュエーション(投資尺度)が低く配当利回りの高い銘柄、利益率の向上など業績拡大が見込まれる銘柄などに注目していきます。

ファンドマネージャーの視点(組入比率上位10銘柄)(全48銘柄中)					
No.	銘柄名	銘柄コード	市場	業種	組入比率
1	MORESCO	5018	東証スタンダード	石油・石炭製品	3.9%
工業用の特殊潤滑油を主体に、ホットメルト接着剤などを手掛ける化学メーカー。自動車用高温用潤滑剤やハードディスク表面潤滑剤(データセンター向けなど)など高いシェア製品を多く有する。					
2	サンフロンティア不動産	8934	東証プライム	不動産業	3.6%
不動産の売買、賃貸仲介からビル管理、改修工事まで展開。都心オフィスビル事業(都心5区を中心に)を中核にホテル事業(開発・再生・運営)、海外事業(ベトナムやインドネシアにおける住宅など)へと事業領域を拡大。					
3	東京エネシス	1945	東証プライム	建設業	3.1%
火力・原子力・水力の各発電所の建設・保守を行う。東京電力HDの持分法適用会社。既存火力発電所の改造工事やLNG火力発電所の新設工事、原子力発電所の再稼働に向けた工事、バイオマス、再生可能エネルギー発電の受注に注力。					
4	クイック	4318	東証プライム	サービス業	2.7%
製薬関連、建設関連、エンジニア、看護師など特定領域の人材紹介を主力に、人材派遣、広告、地域情報誌の出版などを手掛ける。前期から看護師転職支援サイトのブランド浸透のためにテレビCMとWebによるプロモーション強化など先行投資中。					
5	ノリタケ	5331	東証プライム	ガラス・土石製品	2.6%
1904年に洋食器の製造を目的に創立。研削砥石トップ。食器の製造技術で培った独自のコア技術を磨き、研削・研磨工具、セラミック原料や電子ペーストなどの部材、加熱、混錬などの製造装置メーカー。2024年に創立120周年を迎えて、組織風土を改革するために若手を積極的に登用し、年功序列からの脱却を目指す考え。					
6	藤倉コンポジット	5121	東証プライム	ゴム製品	2.6%
自動車のエンジンに使用される重要部品から、ゴルフシャフトまでゴムや樹脂の複合製品を製造・販売。売上高の約3割を占めるスポーツ用品(ゴルフシャフトなど)の営業利益率が40%前後と高い利益率を維持(米国および国内男子プロ、国内女子プロで使用率No.1を誇る)。					
7	シモジマ	7482	東証プライム	卸売業	2.5%
紙袋や包装紙、ポリ袋などのパッケージ用品などを扱う商社。環境配慮型商品をはじめとした当社オリジナル商品など付加価値商品を積極的に取り入れ収益向上を図る。					
8	ハードオフコーポレーション	2674	東証プライム	小売業	2.5%
「ハードオフ」「オフハウス」を主力業態に、リユース品の買取・販売を直営・FCで展開。商品をいくらで買い取るかではなく、商品をいくらで売るかの視点を重視(高粗利を意識した買取戦略で粗利益率68%と同業他社に比べても高い)。					
9	古野電気	6814	東証プライム	電気機器	2.5%
船舶用電子機器の世界大手。主力の船舶事業は当社フルパッケージ(レーダー、衛星通信装置、電子海図情報表示システム)で世界シェア41%でトップ。新造船～保守サービス～機器換装のライフサイクルサポートを提供。新造船から廃船まで約30年(10年・20年で換装)。					
10	コア商事ホールディングス	9273	東証プライム	卸売業	2.3%
ジェネリック医薬品(後発医薬品)原薬輸入のトップ商社。原薬販売が62%、医薬品製造販売が38%と、商社機能と製薬機能を併せ持つビジネスの独自性が特長。営業利益率19%台と高収益。					

※組入比率は当ファンドの純資産に対する比率です。

当資料は当該ファンドに関する運用状況の情報提供を目的として、TORANOTEC投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、当資料の運用実績・データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。投資信託は、株式など値動きのある証券等に投資をしますので基準価額は変動し、また元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。当ファンドのお申し込みに際しましては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

当ファンドにかかるリスクについて

当ファンドは、株式や公社債など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、当ファンドは、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

- ① 株価変動リスク...株式市場が国内外の政治、経済、社会情勢の変化等の影響を受けたり、また株式の発行企業の業績悪化、信用状況の悪化などで、基準価額が下落する可能性があります。
- ② 金利変動リスク...金利変動により債券価格が変動するリスクをいいます。一般に金利が上昇した場合には、債券価格は下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
- ③ 信用リスク.....公社債および短期金融商品の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利息や償還金をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなるリスク（債務不履行）をいいます。
- ④ 流動性リスク.....有価証券等を売買しようとする場合、需要または供給がないために、有価証券等を希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができないリスクをいいます。
- ⑤ 投資信託に関する一般的なリスク
- ⑥ 運用体制の変更ならびに運用責任者の交代に関するリスク

当ファンドのリスクは上記に限定されるものではありません。

お客さまにご負担いただく費用について

直接的に負担する費用

購入時手数料	取得申込受付日の基準価額に、 3.30%（税抜3.00%） の率を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額とします。申込手数料の詳細につきましては、販売会社にお問い合わせください。
換金時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	ファンドを保有している期間、保有している金額に対して 年率0.88%（税抜0.80%） 。 （配分（各税込）：委託者0.4235%・販売会社0.4235%・受託者0.0330%）
その他費用・手数料	信託事務の処理に要する諸費用（監査報酬、目論見書等の印刷費用等を含みます。） 有価証券売買時の売買委託手数料等 ※その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

ファンドの概要

設 定 日	2017年9月29日
決 算 日	年1回 7月20日（休業日の場合は翌営業日）
信 託 期 間	無期限
収 益 分 配	決算日に収益分配方針に基づいて分配を行います。

お申込みメモ

購 入 単 位	販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購 入 価 額	購入申込受付日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。
換 金 単 位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位
換 金 価 額	換金申込受付日の基準価額
換 金 代 金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申 込 締 切 時 間	原則として、営業日の午後3時30分までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。

当資料は当該ファンドに関する運用状況の情報提供を目的として、TORANOTEC投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、当資料の運用実績・データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。投資信託は、株式など値動きのある証券等に投資をしますので基準価額は変動し、また元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。当ファンドのお申し込みに際しましては、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

委託者、その他関係法人						
委 託 会 社	TORANOTEC投信投資顧問株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号 加入協会:一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 (投資信託設定、投資信託財産の運用指図等を行います。)					
受 託 会 社	株式会社りそな銀行(再信託:株式会社日本カストディ銀行) (投資信託財産の管理業務等を行います。なお、信託事務の一部につき、株式会社日本カストディ銀行に委託することができます。)					
販 売 会 社	下記、販売会社一覧をご参照ください。 (受益権の募集・販売の取扱い、一部解約の実行の請求ならびに償還金および一部解約金の支払い等を行います。下記表は当ファンドの販売会社の一覧表です。)					
委託者、その他関係法人						
販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	一般社団法人日本STO協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	○
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○		
香川証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第3号	○				
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○	○
TORANOTEC投信投資顧問株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号		○		○	

当資料は当該ファンドに関する運用状況の情報提供を目的として、TORANOTEC投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、当資料の運用実績・データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。投資信託は、株式など値動きのある証券等に投資をしますので基準価額は変動し、また元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。当ファンドのお申し込みの際しましては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。